

第22回



日本抗加齢医学会総会



## ランチオンセミナー 17

日時 2022年6月19日(日) 12:30~13:20

会場 大阪国際会議場 第6会場(会議室1008)

本セミナーは整理券制です。



# カシスによるアンチエイジング

座長

市橋 正光 先生

BTRアーツ銀座クリニック院長  
神戸大学名誉教授



## 講演1 「カシスアントシアニンの血流改善効果」

松本 均 新潟薬科大学応用生命科学部 教授

アントシアニン(AC)は、ブルーベリーなどが有名であるが、カシス(*Ribes nigrum*)は、アグリコンとしてdelphinidinが60%以上、配糖体としてrutinosideが80%という特徴を持ち、他のACよりも血中濃度が高いこと、眼の一部組織に局所的に高濃度で存在することが明らかになっている。今回は、ACの特徴的な機能性である、NOを介した平滑筋の弛緩作用による眼の毛様体筋の弛緩効果、軸性近視の予防や疲労改善効果、緑内障患者の視神経乳頭血流の改善効果や視野欠損の進行抑制効果などの臨床試験報告例とともに、ラットの摘出大動脈を用いた血管弛緩作用について、ACの作用機序についての新たな知見について紹介する。



## 講演2 「カシスによる見た目のアンチエイジング」

日比野 佐和子 Y'sサイエンスクリニック広尾 統括院長 /  
大阪大学大学院医学研究科臨床遺伝子治療学 特任准教授

カシスはヨーロッパやニュージーランドで、古くは薬用として栽培されていた植物であるが、その果実に含まれるカシスに特徴的なアントシアニンには、眼のピント調節能改善、暗順応、眼精疲労改善、緑内障の進行抑制、近視化抑制といったアントシアニンのイメージとして浸透している眼に関する機能にとどまらず、抗メタボ、血流改善、血管の健康、目の下のくまの改善、更年期対策、エラスターゼ活性の抑制、抗インフルエンザウイルス作用、抗ヘルペスウイルス作用、抗疲労、メンタルヘルスへの効果など様々な機能性の報告がなされている。今回は主に血流改善作用を中心に外見へ関連する機能に関して紹介する。



共催：第22回日本抗加齢医学会総会/森下仁丹株式会社

22nd Scientific Meeting of the Japanese Society of Anti-Aging Medicine